



【2026 年度/教養科目領域/基盤科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	50	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業で学修した内容により、期末レポートを作成する。テーマは事前に発表する。学修の内容が反映され、自身の意見が適切に表現されているか等で評価する。評価基準については授業内で提示する。			講評を付けて返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業内もしくは時間外学習として課題を課す。課題の提出及び課題の得点、出席状況などが総合的な評価の対象になる。評価基準については授業内で提示する。			講評を付けて返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験							
実践的授業の内容	日本語の理解を深めるために、具体的な事例を紹介するほか、必要に応じて視聴覚教材を使用して授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>本授業は対面方式であるが、授業の進捗状況、授業環境等(感染症等の影響)により、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。</li> <li>生成 AI を使用した作成は認めない。使用と判断される場合は評価の対象としない。</li> <li>今後の学生生活やビジネスシーンなどで円滑なコミュニケーションを図ることは大切である。これを実践するために必要な日本語スキルの習得と向上を目指している。</li> <li>出欠状況は評価の対象となるため、欠席や遅刻をしないように努めること。</li> </ul>						